

The logo for azbil, featuring the word "azbil" in a bold, red, lowercase sans-serif font.

人を中心としたオートメーション

アズビル株式会社 証券コード: 6845 (東証1部)

2013年度(2014年3月期)
第1四半期決算補足説明資料

2013年8月1日

- 1 . 2013年度第1四半期 連結業績 P.3
- 2 . 2013年度 連結業績計画 P.11
直近の公表から修正なし
- 3 . 株主の皆様への利益還元 P.14
直近の公表から修正なし

1. 金額は表示単位未満切り捨てで記載しております。
2. 次の通りセグメント名称を略称で記載しております。
 BA: ビルディングオートメーション
 AA: アドバンスオートメーション
 LA: ライフオートメーション
3. 各セグメント別の金額には、セグメント間の内部取引が含まれております。
4. 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。
5. azbilグループの売上は、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向がある一方、固定費は恒常的に発生するため、例年、第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の利益は、他の四半期会計期間に比べ低くなる傾向があります。
6. 新規連結会社の状況は次の通りとなっております。

新規連結会社	2012年度				2013年度	連結の理由
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	
北京銀泰永輝智能科技有限公司			■			株式取得
アズビルTACO株式会社				■		株式取得
アズビルテルスター有限公司					■	株式取得
アズビルボルテック有限公司					■	株式取得
アズビルブラジル有限公司					■	重要性増大

■: B/S連結(同時に新規連結時の受注残高を受注高に計上)

1. 2013年度第1四半期 連結業績

経営成績

< 対前年同期 >

- 受注高 アズビルテルスターの連結に伴いLA事業で大幅に増加。AA事業で減少となったものの、全体として増加となる。
- 売上高 アズビルテルスターの連結に伴いLA事業で大きく増収。BA事業、AA事業で減収となったものの、全体として増収となる。
- 利益 体質強化、経費の抑制に取組み、原価率の改善が進んだものの、BA、AA事業における減収の影響及び新規連結によるのれん償却費用等の増加や一時的な退職給付費用の増加により営業利益は減少。当期純利益は、為替差益等によりほぼ前年同期並みとなる。

[単位：億円]

	第1四半期	前年同期	対前年同期	
			増減	%
受注高	730	713	+17	+2.4
売上高	485	471	+13	+2.9
売上総利益	157	150	+6	+4.4
%	32.4	32.0	+0.5P	
販売費及び一般管理費	172	160	+12	+7.9
営業利益	15	9	5	-
%	3.1	2.0	1.2P	
経常利益	9	9	0	-
税金等調整前当期純利益	10	10	+0	-
当期純利益	9	9	+0	-
%	1.9	2.1	+0.1P	

セグメント別受注高・売上高、セグメント利益

< 対前年同期 >

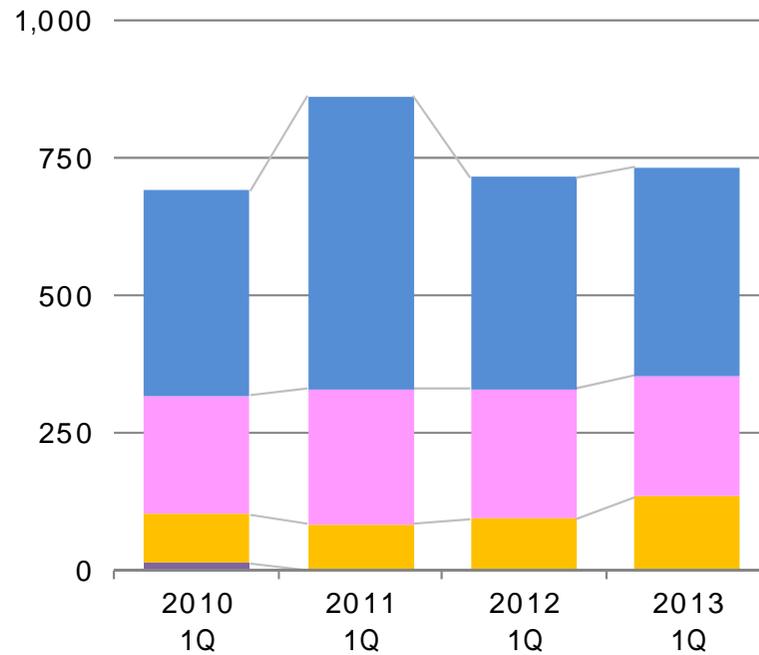
- BA事業** 前年同期における新規連結の影響を除くと、受注高は国内、海外ともに増加。売上高は、海外市場で増収となったものの、新築・既設建物の分野で前年同期に大型案件が計上されていたことを主因に国内市場が減収。セグメント損失は、減収等の影響はあるものの体質強化策が奏功し前年同期並にとどまる。
- AA事業** 装置メーカーの市場において第1四半期後半から回復の動きが見られるものの、全体としては需要が低迷し、素材関連市場でも投資の抑制が見られたことから国内市場において受注、売上が減少。海外市場は概ね順調に推移したものの、全体として減収。体質強化に努めたものの、減収による影響を主因として、減益となる。
- LA事業** 新規連結により受注、売上は大幅に増加。メータの販売事業における採算性改善があるものの、のれん償却費用の増加を含めた新規連結による影響もあり、セグメント損失は若干の拡大。

[単位: 億円]

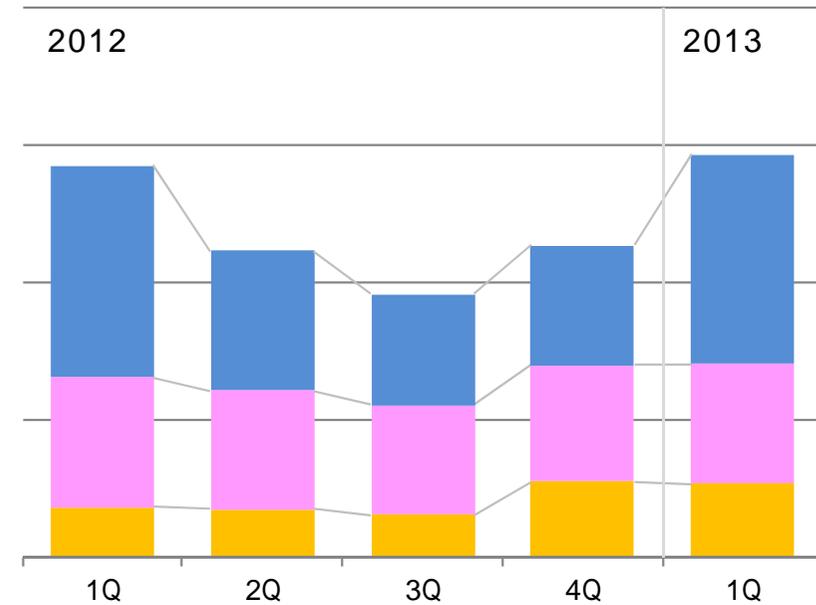
		第1四半期	前年同期	対前年同期	
				増減	%
BA事業	受注高	380	385	5	1.5
	売上高	191	199	8	4.3
	セグメント利益	6	5	0	-
	%	3.4	3.0	0.4P	
AA事業	受注高	219	236	16	7.1
	売上高	186	193	6	3.2
	セグメント利益	2	1	4	359.9
	%	1.6	0.6	2.1P	
LA事業	受注高	134	93	+40	+43.5
	売上高	109	82	+27	+32.7
	セグメント利益	5	4	1	-
	%	5.4	5.4	+0.0P	
連結	受注高	730	713	+17	+2.4
	売上高	485	471	+13	+2.9
	営業利益	15	9	5	-
	%	3.1	2.0	1.2P	

[単位: 億円]

同期比較



四半期推移



同期比較

	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q
B A事業	373	533	385	380
A A事業	216	245	236	219
L A事業	89	84	93	134
その他	12	0	0	0
連結	690	858	713	730

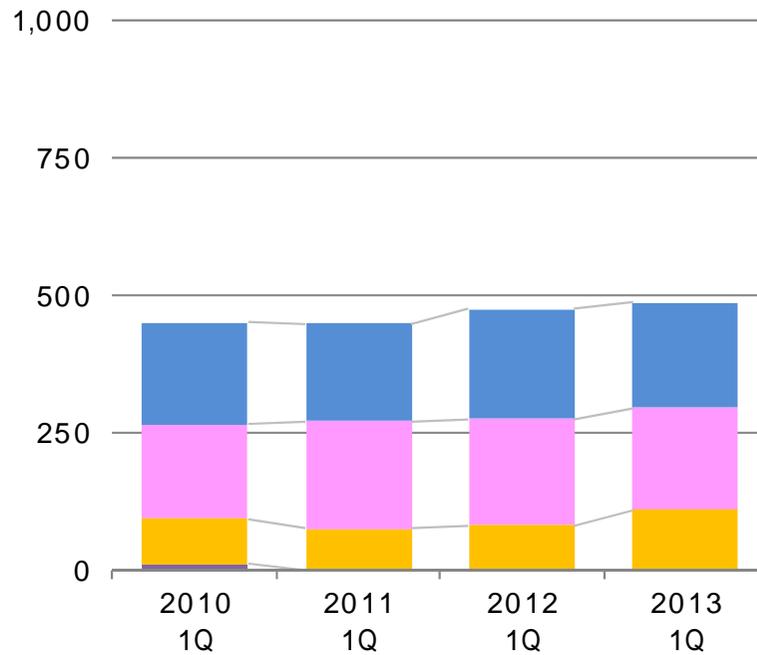
四半期推移

	2012 1Q	2Q	3Q	4Q	2013 1Q
B A事業	385	253	200	218	380
A A事業	236	216	201	212	219
L A事業	93	89	78	139	134
その他	0	0	0	0	0
連結	713	554	476	566	730

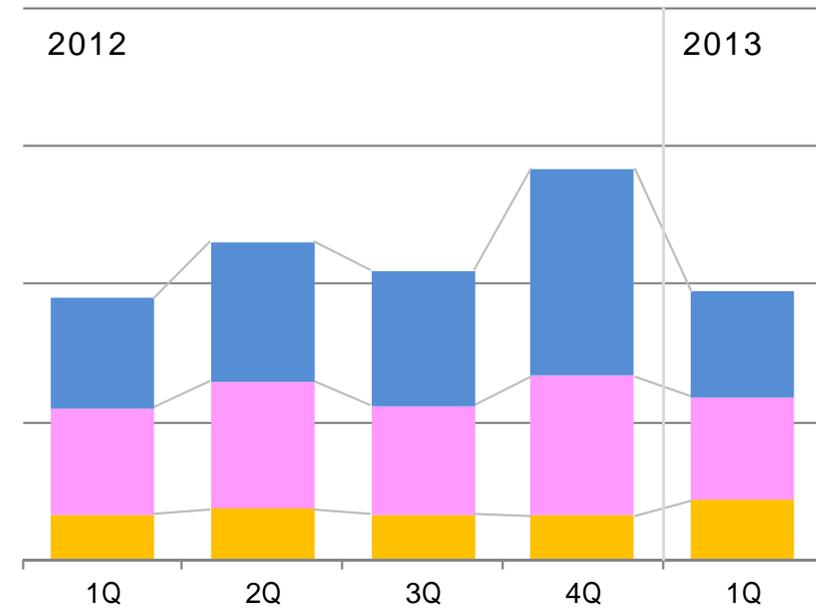
[参考]セグメント別売上高 同期比較・四半期推移

[単位: 億円]

同期比較



四半期推移



同期比較

	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q
B A事業	186	178	199	191
A A事業	171	195	193	186
L A事業	82	75	82	109
その他	11	0	0	0
連結	448	446	471	485

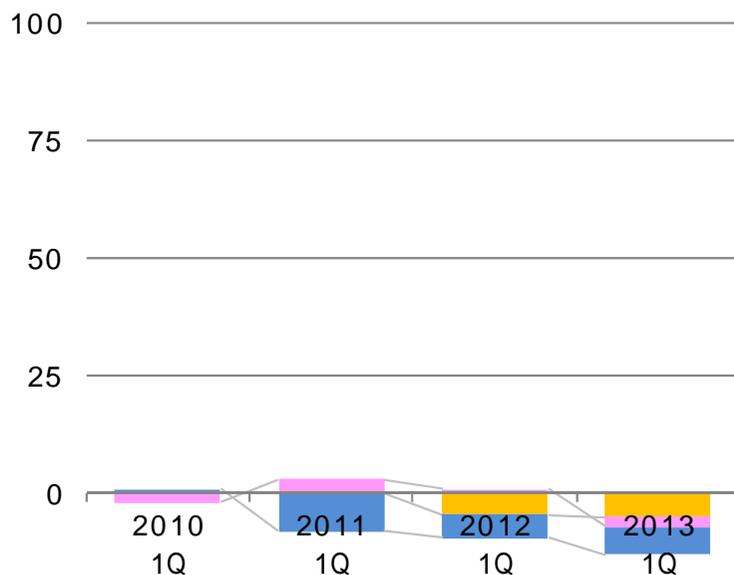
四半期推移

	2012 1Q	2Q	3Q	4Q	2013 1Q
B A事業	199	253	245	375	191
A A事業	193	232	197	253	186
L A事業	82	92	83	81	109
その他	0	0	0	0	0
連結	471	575	522	705	485

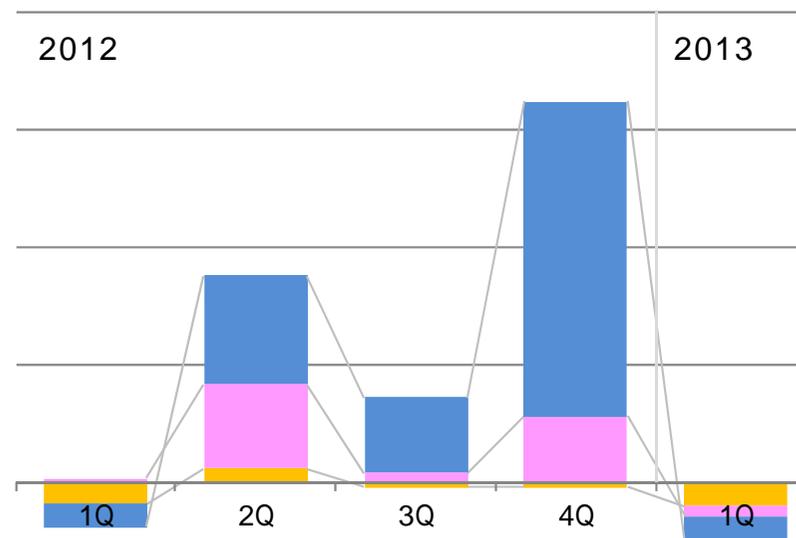
[参考]セグメント利益(営業利益) 同期比較・四半期推移

[単位: 億円]

同期比較



四半期推移



同期比較

	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q
B A 事業	1	8	5	6
A A 事業	2	3	1	2
L A 事業	0	0	4	5
その他	0	0	0	0
連結	1	6	9	15

四半期推移

	2012 1Q	2Q	3Q	4Q	2013 1Q
B A 事業	5	23	16	67	6
A A 事業	1	18	2	14	2
L A 事業	4	3	1	1	5
その他	0	0	0	0	0
連結	9	44	17	80	15

海外地域別売上高 同期比較

海外売上高は、事業が堅調に推移したことに加え、新規連結及び為替の影響により大きく伸長。

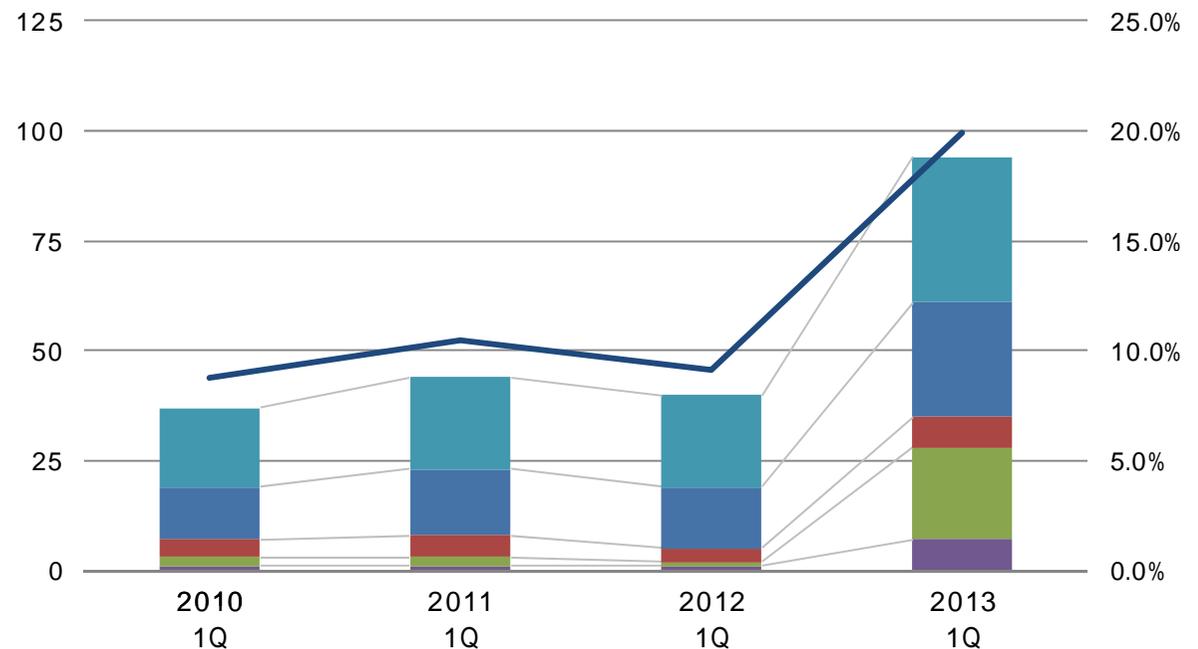
海外売上高比率は、国内売上が、事業の季節性に加え、成長領域での需要はあるものの当第1四半期全体としては低位に推移したこと等から、相対的に大きく拡大。

	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q
アジア	18	21	21	33
中国	12	15	14	26
北米	4	5	3	7
欧州	2	2	1	21
その他	1	1	1	7
合計	39	47	42	96
海外売上高比率	8.8%	10.5%	9.1%	19.9%

(ご参考) 期中平均レート

	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q
円 / USドル	90.70	82.32	79.36	92.47
円 / ユーロ	125.51	112.67	104.15	122.06

[単位: 億円]



海外売上高は、現地法人と直接輸出の売上のみを集計しており、間接輸出は含んでおりません。現地法人の事業年度につきましては、主に12月31日を期末日とする年度を採用しております。

財政状態

資産 売上が第2・4四半期に集中することから第1四半期としては売上債権が大きく減少し、全体として前年度末比142億円の減少。

負債 仕入債務が減少したことに加え、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少。また、賞与支払いにより賞与引当金が減少し、全体として前年度末比126億円の減少。

純資産 株式相場の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したものの、配当金支払い及び四半期純損失計上により利益剰余金が減少。全体として前年度末比16億円の減少となる。

[単位: 億円]

	2013 1Q末 (A)	2012 4Q末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)		2013 1Q末 (A)	2012 4Q末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)
流動資産	1,666	1,817	150	負債	895	1,022	126
現金及び預金	492	484	+7	流動負債	699	828	129
受取手形及び売掛金	704	888	183	仕入債務	342	405	63
棚卸資産	194	165	+29	短期借入金・社債	139	133	+5
その他	274	279	4	その他	217	288	71
固定資産	624	617	+7	固定負債	196	193	+2
有形固定資産	245	246	1	長期借入金・社債	44	45	0
無形固定資産	126	126	+0	その他	152	148	+3
投資その他の資産	252	244	+8	純資産	1,395	1,411	16
				株主資本	1,329	1,362	32
				資本金	105	105	-
				資本剰余金	171	171	-
				利益剰余金	1,078	1,111	32
				自己株式	26	26	0
				その他の包括利益累計額	43	28	+15
				新株予約権・少数株主持分	22	21	+1
資産合計	2,291	2,434	142	負債純資産合計	2,291	2,434	142

2 . 2013年度 連結業績計画

2. 2013年度 連結業績計画 業績計画



当第1四半期における連結業績は、概ね期初計画の範囲内で推移しているため、2013年5月10日に公表した計画値を変更せず据え置く。

国内外のazbilグループを取り巻く事業環境は未だ楽観を許す状況ではないものの、2016年度(2017年3月期)を最終年度とする新中期経営計画の目標達成に向け、当年度における売上拡大、体質強化のための諸施策を着実に実行することで、業績予想の達成を目指す。

[単位：億円]

	上期	下期	通期	前年同期	対前年同期	
					増減	%
売上高	1,100	1,400	2,500	2,275	+224	+9.8
営業利益	27	115	142	134	+7	+5.9
%	2.5	8.2	5.7	5.9	0.2P	
経常利益	24	111	135	145	10	7.3
当期純利益	9	71	80	83	3	3.7
%	0.8	5.1	3.2	3.7	0.5P	

セグメント別売上高、セグメント利益

[単位：億円]

		上期	下期	通期	前年同期	対前年同期	
						増減	%
BA事業	売上高	440	670	1,110	1,074	+35	+3.3
	セグメント利益	13	90	103	101	+1	+1.5
	%	3.0	13.4	9.3	9.5	0.2P	
AA事業	売上高	440	490	930	876	+53	+6.1
	セグメント利益	15	23	38	36	+1	+4.2
	%	3.4	4.7	4.1	4.2	0.1P	
LA事業	売上高	230	250	480	339	+140	+41.2
	セグメント利益	1	2	1	3	+4	-
	%	0.4	0.8	0.2	1.2	+1.4P	
連結	売上高	1,100	1,400	2,500	2,275	+224	+9.8
	営業利益	27	115	142	134	+7	+5.9
	%	2.5	8.2	5.7	5.9	0.2P	

3．株主の皆様への利益還元

3. 株主の皆様への利益還元 配当計画



株主の皆様への利益還元を重視し、連結業績、自己資本当期純利益率・純資産配当率の水準向上に努めつつ、安定した配当を維持する。

当第1四半期における連結業績は、概ね期初計画の範囲内で推移しており、配当は2013年5月10日に公表した計画を維持する。

	2012年度		2013年度	
	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金 [円]	31.5	31.5	31.5(計画)	31.5(計画)
配当性向	56.0%		58.2%	
純資産配当率 (DOE)	3.4%		3.3%	

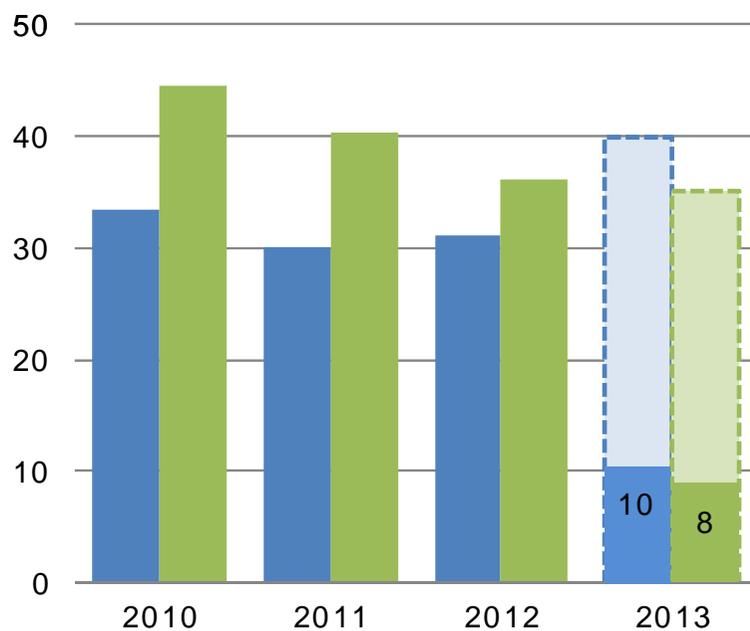
(ご参考) 2013年7月末時点配当利回り: 3.0%

補足資料

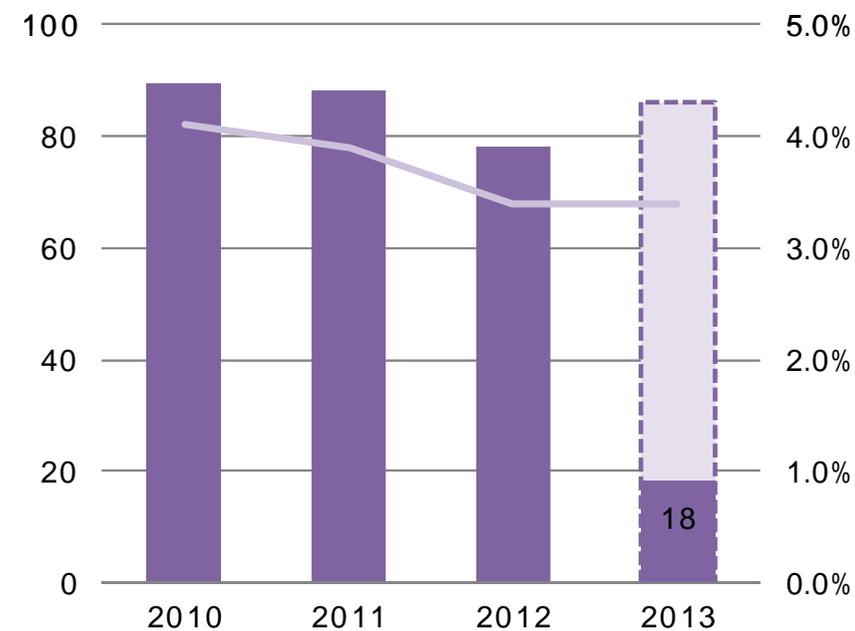
設備投資・減価償却費 / 研究開発費

[単位：億円]

設備投資・減価償却費

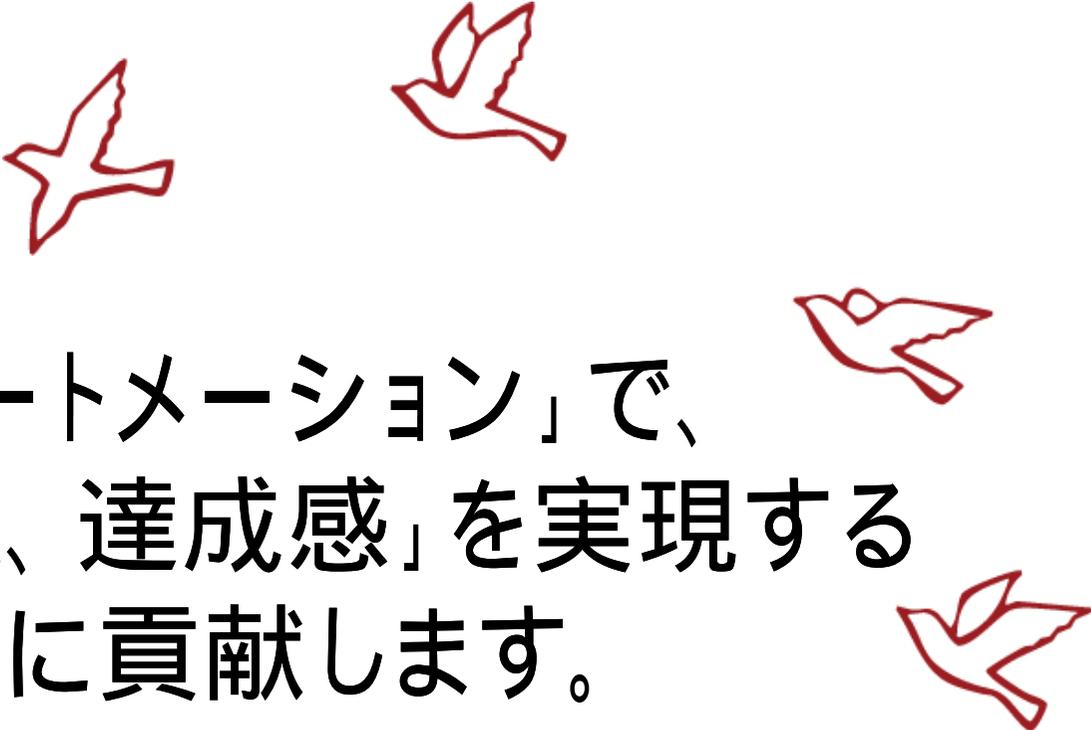


研究開発費・研究開発費率



年度	2010	2011	2012	2013 (計画)
設備投資	33	30	31	40
減価償却費	44	40	36	35

	2010	2011	2012	2013 (計画)
研究開発費	89	88	78	86
— 研究開発費率	4.1%	3.9%	3.4%	3.4%



azbilグループは、
「人を中心としたオートメーション」で、
人々の「安心、快適、達成感」を実現する
とともに、地球環境に貢献します。

<お問い合わせ>

アズビル株式会社
理財部 IRグループ

電話: 03-6810-1031
メール: azbil-ir@azbil.com
URL: <http://www.azbil.com/jp/ir/>

IR情報メール

アズビルでは、最新のIR情報をメールでお届けしています。是非ご登録ください。

アズビル IRメール

検索 